



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月14日

上場会社名 株式会社中央製作所

上場取引所 名

コード番号 6846 URL <http://www.chuo-seisakusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 邦之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 服部 光生

TEL 052-821-6166

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	2,146	11.1	332		308		303	
2022年3月期第3四半期	2,414	16.1	82		55		56	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 328百万円 (%) 2022年3月期第3四半期 44百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	392.72	
2022年3月期第3四半期	72.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,076	1,913	46.9
2022年3月期	4,697	2,258	48.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 1,913百万円 2022年3月期 2,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		20.00	20.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2022年3月16日に公表しました「海外連結子会社の解散・清算に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループ内における経営の最適化、経営資源の集中と効率化を目的に連結子会社である秋欧機械設備(上海)有限公司を解散及び清算いたしました。その結果、当社は連結子会社が存在なくなり、2023年3月期第4四半期より非連結決算へ移行するため、2022年8月10日に公表済の2023年3月期連結業績予想は取り下げ、個別での業績予想の開示を行っております。なお、2023年3月期個別業績予想につきましては、2022年11月11日公表の「非連結決算への移行及び2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	784,300 株	2022年3月期	784,300 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	11,415 株	2022年3月期	10,987 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	773,073 株	2022年3月期3Q	773,338 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績	8
(2) 受注実績	8
(3) 販売実績	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの正常化に向けた回復の動きがある一方で、第8波の感染拡大がはじまり景気の回復には、まだ時間を要するものと判断せざるを得ない状況でありました。一方、海外経済は、インフレ圧力に対する金融引き締めにより景気後退局面に入り、世界経済は下振れが懸念される状況でありました。また、ロシアのウクライナ侵攻の長期化によるエネルギーコストの上昇や半導体を始めとした電子部品や部材の大幅な納期遅れは解消のめどが立たない状況が続いておりました。

このような経済状況の中で、当社グループとしましては、電子部品や部材の調達に注力し、受注・売上の確保に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高は3,206百万円（前年同四半期比17.2%増）、売上高は2,146百万円（前年同四半期比11.1%減）となりました。損益については、営業損失332百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）、経常損失308百万円（前年同四半期は経常損失55百万円）、親会社株主に帰属する当期純損失303百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する当期純損失56百万円）の計上となりました。

今後、エネルギーをはじめとする資源価格の高騰や電子部品や部材の供給不足、資材価格の上昇が重石となり設備投資の慎重化が懸念されるものの、カーボンニュートラルの実現に向けた設備更新や人手不足と生産性の向上に対応する合理化・省力化に向けた設備投資、カントリーリスクを回避する製造業の国内回帰は進むと判断しております。こうしたニーズに対する的確な提案営業を行い、受注・売上の確保に努めてまいります。

以下主なセグメントの業績についてご説明申し上げます。なお、第1四半期連結会計期間より、従来「表面処理装置」「環境機器」として区分しておりました報告セグメントについて「表面処理装置」に統合しております。これは「環境機器」が当社グループの「表面処理装置」に付帯する機器であり、経営管理体制の現状の実態を踏まえ、「表面処理装置」の区分とすることがより適切であると判断したことによるものであります。このため、前第3四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

（電源機器）

電源機器につきましては、電池業界、自動車関連業界ならびに電子部品業界などを中心に、様々なニーズにお応えすることで受注確保に取り組んでまいりました。その結果、受注高は1,203百万円（前年同四半期比18.2%増）、売上高は685百万円（前年同四半期比28.8%減）となりました。

今後につきましては、カーボンニュートラルの実現に寄与する高効率電源などの製品の更なる改良を進め受注・売上の確保に努めてまいります。

（表面処理装置）

表面処理装置につきましては、自動車関連業界、電子部品業界などを中心に、新規・更新需要および既存装置の改修需要の掘り起こしに注力してまいりました。その結果、受注高は1,155百万円（前年同四半期比25.7%増）、売上高は816百万円（前年同四半期比13.2%増）となりました。

今後につきましては、IoT技術を活用した予防保全システムであるCCCS-M（当社グループ商品名）の提案および既存装置の改修提案により、受注・売上の確保に努めてまいります。

（電気溶接機）

電気溶接機につきましては、国内市場においては、自動車関連業界、鋼製家具業界などを中心に、新規・更新需要の掘り起こしに注力してまいりました。また、海外市場においては海外代理店との連携を密にして、電子部品業界を中心に販売に努めてまいりました。その結果、受注高は437百万円（前年同四半期比0.0%減）、売上高は、407百万円（前年同四半期比13.0%減）となりました。

今後につきましては、お客様のさまざまなご要望にお応えするために、社内の溶接実験設備を積極活用し、受注・売上の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて14.8%減少し3,185百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が410百万円、現金及び預金が407百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて7.2%減少し891百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13.2%減少し4,076百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて12.3%減少し1,714百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が201百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7.6%減少し448百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて11.3%減少し2,162百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて15.3%減少し1,913百万円となりました。これは、主として利益剰余金が319百万円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月16日に公表しました「海外連結子会社の解散・清算に関するお知らせ」に記載のとおり、当社グループ内における経営の最適化、経営資源の集中と効率化を目的に連結子会社である秋欧機械設備（上海）有限公司を解散及び清算いたしました。その結果、当社は連結子会社が存在なくなり、2023年3月期第4四半期より非連結決算へ移行するため、2022年8月10日に公表済の2023年3月期連結業績予想は取り下げ、個別での業績予想の開示を行っております。なお、2023年3月期個別業績予想につきましては、2022年11月11日公表の「非連結決算への移行及び2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。個別業績予想につきましては、概ね当初の予想の範囲内であるため2022年11月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

記載の業績予想数値につきましては、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は今後様々な要因により業績予想とは異なる可能性があります。実際の業績に与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,567,123	1,160,058
受取手形及び売掛金	854,078	443,340
電子記録債権	453,887	400,639
商品及び製品	85,118	86,265
仕掛品	583,740	863,206
原材料及び貯蔵品	131,414	176,888
その他	62,007	54,946
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	3,737,071	3,185,043
固定資産		
有形固定資産	287,679	283,040
無形固定資産	70,268	59,966
投資その他の資産	602,659	548,079
固定資産合計	960,607	891,086
資産合計	4,697,678	4,076,130
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	783,096	581,426
短期借入金	740,000	740,000
1年内返済予定の長期借入金	-	40,000
未払法人税等	10,630	2,423
その他	420,094	350,317
流動負債合計	1,953,821	1,714,167
固定負債		
長期借入金	40,000	-
繰延税金負債	103,688	93,620
退職給付に係る負債	262,038	243,964
その他	79,943	110,943
固定負債合計	485,670	448,528
負債合計	2,439,492	2,162,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	503,000	503,000
資本剰余金	225,585	225,585
利益剰余金	1,385,522	1,066,453
自己株式	△16,169	△16,847
株主資本合計	2,097,938	1,778,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	149,300	123,477
為替換算調整勘定	10,947	11,765
その他の包括利益累計額合計	160,247	135,242
純資産合計	2,258,185	1,913,434
負債純資産合計	4,697,678	4,076,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	2,414,803	2,146,104
売上原価	1,853,986	1,809,660
売上総利益	560,817	336,443
販売費及び一般管理費	642,917	669,052
営業損失(△)	△82,099	△332,608
営業外収益		
受取利息	690	27
受取配当金	7,352	8,915
為替差益	63	144
雇用調整助成金	-	12,077
補助金収入	19,617	4,538
その他	4,391	2,755
営業外収益合計	32,114	28,459
営業外費用		
支払利息	4,766	4,712
その他	1,082	53
営業外費用合計	5,849	4,766
経常損失(△)	△55,834	△308,915
特別利益		
固定資産売却益	49	228
投資有価証券売却益	5,565	-
特別利益合計	5,615	228
特別損失		
固定資産処分損	46	252
特別損失合計	46	252
税金等調整前四半期純損失(△)	△50,265	△308,939
法人税、住民税及び事業税	1,408	1,408
法人税等調整額	4,556	△6,744
法人税等合計	5,965	△5,335
四半期純損失(△)	△56,230	△303,603
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,230	△303,603

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△56,230	△303,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,006	△25,822
為替換算調整勘定	2,910	817
その他の包括利益合計	11,917	△25,004
四半期包括利益	△44,313	△328,607
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△44,313	△328,607
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

第1四半期連結会計期間より、従来「表面処理装置」「環境機器」として区分しておりました報告セグメントについて「表面処理装置」に統合しております。これは「環境機器」が当社グループの「表面処理装置」に付帯する機器であり、経営管理体制の現状の実態を踏まえ、「表面処理装置」の区分とすることがより適切であると判断したことによるものであります。このため、前第3四半期連結累計期間との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計年度における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	931,477	△15.9
表面処理装置	855,791	△25.4
電気溶接機	444,342	△8.5
その他	285,877	△10.0
合計	2,517,488	△17.7

(注) 1 金額は、販売価格によっております。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計年度における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	1,203,342	18.2	901,178	83.8
表面処理装置	1,155,221	25.7	920,775	△11.8
電気溶接機	437,743	0.0	204,944	36.2
その他	410,516	13.7	336,998	71.6
合計	3,206,822	17.2	2,363,897	25.6

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計年度における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
電源機器	685,256	△28.8
表面処理装置	816,731	13.2
電気溶接機	407,488	△13.0
その他	236,628	△9.8
合計	2,146,104	△11.1